

式 辞

穏やかな光が降り注ぎ、草木が芽吹く彩り豊かな春を迎えました。本日、御来賓の皆様、保護者、御家族の皆様方の御臨席を賜り、このように盛大に入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

只今入学を許可いたしました38名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を在校生・教職員一同、心から祝福するとともに、皆さんを今日まで立派に育てられた保護者の皆様に、心からお慶びを申し上げます。

これから皆さんが学ぶ野村高校は、79年の歴史と伝統を誇り、約1万5千人以上の同窓生や地域の方々の熱い思いに支えられた素晴らしい学校です。野村高校に入学したことに、大いに自信と誇りを持ってください。

幕末の藩士であり優れた教育者でもあった吉田松陰の、「山は樹を以て茂り、国は人を以て盛んなり」という言葉があります。「山に樹が茂るように、国は人で栄える」という意味です。国を学校に置き換えると「学校は生徒を以て盛んなり」となるでしょう。つまり、学校は生徒が主体であり、皆さん一人一人が積極的に学習や行事に取り組む姿勢が学校を作っていくのです。学校は「様々な人間と関わることで、社会における自分の在り方」を学ぶ場所でもあります。多様な人々と関わることで、自らの学びであると認識し、相手の立場に立って考え、行動し、相手を尊重し、互いに協力していくことが大切です。他人のために何ができるかを考えることが「志」の基本であり、「思いやり」の心なくしては人類貢献・社会貢献は考えられません。自分を大切に、人を大切に、自分に厳しく、人に温かく、皆が力を合わせ、自信・誇り・気概をもって歩いてほしいと願っています。

皆さんの入学を祝うかのように、本校の卒業生である風賢央が大相撲春場所で幕下優勝を飾り、来場所から十両に昇進することとなったニュースは記憶に新しいところですが、本校で学ぶ先輩たちも学習や部活動、地域と連携した活動などで素晴らしい成果を上げています。本校の校訓「美しく、新しく、逞しく」は、予測不可能な現代社会を生き抜くために、高い志をもって様々なことに挑戦し、経験を重ねながら対応力をつけ、地域を担う人材となる皆さんの3年間の道標です。高校時代は、人生の中で最も成長できる時期であり、この時期に得た力は一生の宝になります。また、学校とは、思い切って失敗できる場所でもあります。失敗を恐れず、いろいろなことに大いに挑戦してください。

保護者の皆様、本日はお忙しい中、入学式にお越しいただきありがとうございます。皆様の本日までのご苦勞に対し、教職員一同心より敬意を表し、お祝い申し上げます。また、本日より私達教職員一同は、お子様の成長に全力をあげてサポートしてまいります。そのためには本校の教育方針を御理解をいただき、学校と御家庭が協力していくことが大切であると考えております。何卒、御協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

結びとなりますが、本日入学された新入生の皆さんの今後の健闘を祈って式辞といたします。

令和六年四月八日

愛媛県立野村高等学校長 松井 由紀子